

令和7年度 第1回土岐市総合教育会議 資料

土岐市教育大綱の改定及び第3次土岐市教育振興基本計画の策定について

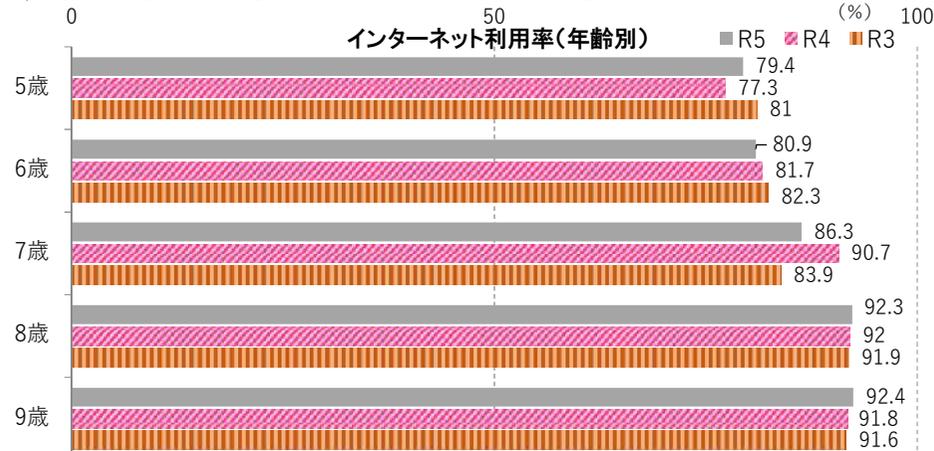
# 1 教育を取り巻く社会の現状や変化

(1) 土岐市の人口の推移



今後10年で15歳未満人口は約3割減少

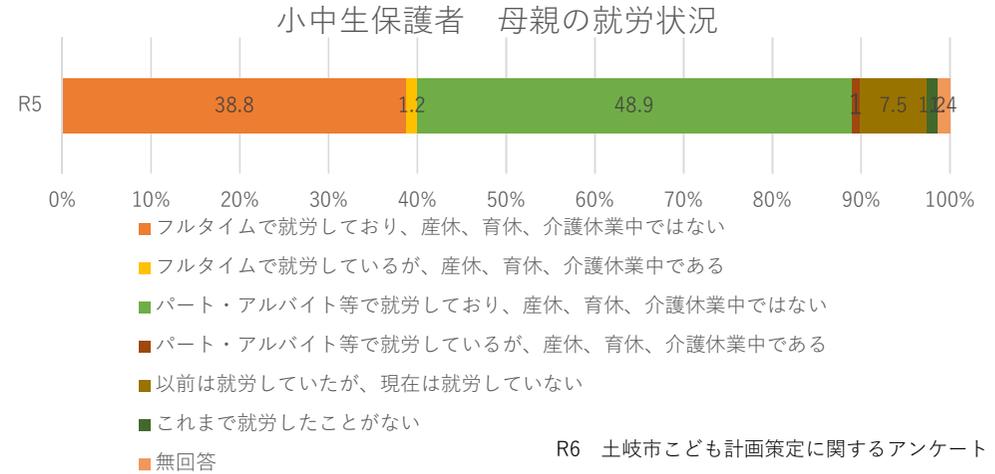
(3) 低年齢層の子どものインターネット利用状況



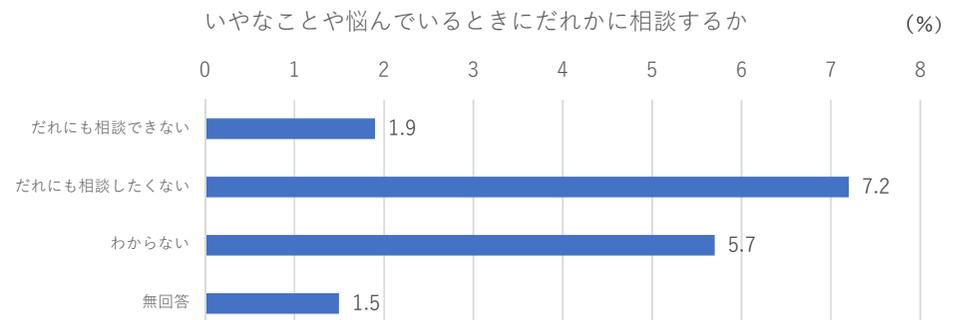
「令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査」(こども家庭庁)

・低年齢からインターネットを利用 より身近な存在となる

(2) 家庭環境



R6 土岐市こども計画策定に関するアンケート



R6 土岐市こども計画策定に関するアンケート

・8割以上の母親が就労しながら子育てに従事。それにより子育ての負担感の増加が考えられる。  
 ・なやみを誰にも相談できない、したくない、わからない子どもが存在している。

## 1 教育を取り巻く社会の現状や変化 まとめ

### (1)人口減少の影響

- ・労働人口の低下
  - ➔ 一人ひとりが**それぞれのよさを発揮し、自らすすんで社会の創り手になること**
- ・地域の教育力の低下、人口減少 = 小規模化
  - ➔ **共につながり支え合う力、地域を知り、地域に貢献する力の育成**
  - ➔ **地域との連携による活性化**
  - ➔ **学校の小規模化への対応**

### (2)家庭環境

- ・共働き家庭の増加、核家族化、相談相手がいない  
生産年齢人口が減少するなか、この傾向は続くことが予想される
  - ➔ **子どもの居場所づくり、親同士のつながり、地域で支え合う関係性の構築**

### (3)インターネット環境

- ・低年齢からインターネットの利用が当たり前の現状
  - ➔ 無意識の利用によるトラブル、長時間利用の影響が懸念
  - ➔ 生成AIの活用が浸透、ロボットによる自動化の発達
  - ➔ **情報活用能力の育成**
  - ➔ ICTを活用した個別最適な学び
  - ➔ **リアルな体験、リアルなつながりとネット利用とのバランス**

## 今後の教育が担う役割

・人口減少・家庭環境の変化への対応として**学校と地域が連携・協働して**、学校は地域で活躍できる人を育み、地域は学校を支え共に子どもを育てる。

・**地域で支え合う関係性の構築**が必要。

・生成AIやロボットの発達による、社会に出て必要な能力の変化。変化が激しく予測困難な**未来を切り拓く力の育成**が必要。

・ICTの活用は必須であり、情報モラル教育も含めて、**情報活用能力を育成**することが必要。

## 2 第2次教育振興基本計画の現状と課題

基本目標1 学び合い 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成する	R2	R3	R4	R5	R6
1-1 確かな学力の育成					
◆「土岐市幼稚園・こども園、小・中学校教育の方針と重点」の具現	B	B	B	A	A
◆基礎・基本の確実な定着	B	B	B	A	A
1-2 多様な学びを支援する教育の充実					
◆キャリア教育の推進	B	B	B	B	B
◆特別支援教育の推進	B	B	A	A	A
◆外国人児童生徒教育の推進	B	B	A	A	A
1-3 豊かで健やかな児童生徒の育成					
◆人権教育の推進	A	A	A	A	A
◆道徳教育の充実	B	B	A	A	A
◆学校図書館の充実	B	B	B	B	B
◆体力づくりの充実	B	B	A	B	B
◆健康教育の推進	B	B	A	A	A
◆食育の推進	B	B	A	A	A
◆安全で確実なアレルギー対応食の提供	A	A	A	A	A

## 点検及び評価（総評） ※ R5実績 一部抜粋

すべての附属幼稚園と小・中学校へ、教育長や教育委員が2回以上訪問されたことを評価したい。この取組はぜひ継続されたい。

具体施策「基礎・基本の定着」のみに学習指導の焦点を当てるのではなく、総合的な学力形成を目指す中で、子ども自身が「基礎・基本」の重要性を認識し、自ら高めようとする意欲（自ら学習を調整しようとする気持ち）を持つことが明らかになってきている。今後の施策の参考にしていきたい。

具体施策「キャリア教育の推進」における「夢の教室」の実施で、子どもたちは夢や希望をもって努力することの大切さを実感したことと思う。ますます予測不可能な時代に突入してきている今、子どもたちに自分の生き方を見つめる機会を意図的に提供する機会は極めて重要である。

「特別支援教育の推進」においては、「個別の指導計画、個別の教育支援計画」の重要性を踏まえ、その計画のもと、個々の状況を踏まえたきめ細やかな教育を進められていることを評価したい。「外国人児童生徒教育の推進」においては、「土岐市外国人児童生徒学校適応支援事業」によって、日本語指導と生活習慣の確立を支援できるように、外国人児童生徒の支援が必要な学校へ支援員を派遣しているのは特筆すべきことである。文部科学省は「これまで通りの教育で誰一人取り残さないことは可能か？」と問いかけている。教育委員会は、このことをしっかりと受け止めて、次の施策を考えておく必要がある。

人権教育について日常授業における「ひびきあい」を検証することも考えられるとよい。「主体的・対話的で深い学び」は、授業における子ども同士の「ひびきあい」があってこそ実現できるからである。

「学校図書館の充実」について次期学習指導要領を検討している中央教育委審議会の状況を踏まえると、「探究活動」がより重要視されるようである。「探究活動」を支えるためには、学校図書館の充実・整備は必須である。

「体力づくりの充実」において特筆すべきことは、全小学校において「アクティブ・チャイルド・プログラム」授業が継続されていることである。ますますの充実を期待したい。

「個々の児童生徒の心身の健康問題解決に向けて、自分の健康問題に気付き、理解と関心を深め、自ら積極的に解決していこうとする自主的・実践的な態度の育成が図れるように指導した」に注目したい。健康問題こそ自分事とすべきであり、子どもが自分事とすることで、健康推進の観点から、意識して日常生活を送るようになると思われる。継続的な取組を期待したい。

「食育の推進」においては、子どもたちの健やかな成長を願う多彩な取組が精力的に継続されている。その成果は実績内容からしっかり読み取ることができる。

1-4 教職員の資質・能力の向上					
◆経験年数や職務に応じた研修、今日的課題に対応する研修の充実	B	B	A	A	A
◆授業や学級を組織していく力など、実践的指導力を高める研修の充実	B	B	B	B	B
◆広報活動の充実	A	A	A	A	A
◆働きやすい職場環境づくりの推進	B	B	B	B	B
1-5 安全・安心な教育と体制の整備・充実					
◆不登校の未然防止と迅速で組織的な対応	B	B	B	B	A
◆いじめ等の問題行動の未然防止と早期発見・早期対応の徹底	B	B	B	B	B
◆教育相談体制の充実	B	B	B	B	A
◆学校施設の整備・充実	B	B	B	B	B
◆危機管理体制の充実	B	B	A	A	A
◆家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進	B	B	A	A	A
1-6 幼保特別支援の推進					
◆特別支援体制の整備	B	B	B	B	A
◆小学校との連携の充実	B	B	A	A	A
1-7 就学前教育の充実					
◆幼児教育の充実	B	B	B	B	B
幼保一体型施設の適正配置					
◆こども園化の推進	A	A	A	A	A

教職員の資質・能力の向上を図る継続的な取り組みにより、教職員の学びを促し、教育実践力を着実に高めていることは十分に評価できる。時間外在校等時間が月4.5時間以上の職員の割合が小中平均10.2パーセントになったことは評価できる。教職員の負担を軽減するため、業務改善を図るとともにスクールサポートスタッフの効果的な活用を今後さらに期待したい。

児童生徒が安心して学習や生活を行うことのできる施設環境を確保し、教育内容・方法の多様化へ対応するための施設機能を備えることが必要であり、「教育環境の整備・充実」は行政として極めて重要な課題である。貴市においては、安全・安心な教育と体制の整備・充実を図るために、「不登校の未然防止と迅速で組織的な対応」「いじめ等の問題行動の未然防止と早期発見・早期対応の徹底」「教育相談体制の充実」「学校施設の整備・充実」等を基本施策として掲げ、積極的に推進されている。地域とともにある学校づくりを推進するために、市内全小・中学校に学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクール化が図られた。いずれの学校においても年に2~4回の学校運営協議会が実施され、学校支援の場や児童生徒が活動する状況が一段と充実する結果となっている。さらに、学校運営協議会実践交流会を実施し、各委員による熟議の場が設けられた。学校を支援する活動が充実してきており、家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進を今後とも大切にしていきたい。

基本目標2 支え合い 家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる					
2-1 家庭教育を学ぶ機会の充実					
◆子育て講座の充実	-	-	B	B	B
2-2 学びと交流を深めるPTA活動への支援の充実					
◆土岐市PTA連合会の活動に対する支援	-	-	B	B	B
◆幼稚園、小・中学校のPTA活動に対する支援の充実	-	-	B	B	B
2-6 地域の教育力の向上と絆づくりの推進					
◆地域と学校との連携・協働による活動の推進	-	B	B	A	A

基本目標2にある家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる【支え合い】の推進は、これから生き抜いていかなければならない変化の速い時代には不可欠な取り組みである。そこで、【支え合い】の言葉のとおり、人口減少の中であるからこそ、人と人とが温もりを感じるつながりや互いに輝き合うことのできる施策が益々重要であり、今後も積極的に推進していくことを期待する。この5年間に得られた知見をもとに、生涯100年時代にあって、その年代、その時期にこそ学ぶにふさわしい事柄をタイムリーに学び、**全ての人の健全な成長につながる**ために余念のない取組を今後も期待したい。

評価Aの項目	
基本目標1 学び合い	26項目中18
基本目標2 支え合い	4項目中1項目

R6で評価Bから評価Aとなった項目・・・改善したが継続した取り組みが必要な項目  
基本目標1 学び合い  
 ◆不登校の未然防止と迅速で組織的な対応  
 ◆教育相談体制の充実  
 ◆特別支援体制の整備

R2～R6 評価Bの項目・・・引き続き課題となる項目  
基本目標1 学び合い  
 ◆キャリア教育 ◆学校図書館の充実  
 ◆体力づくりの充実  
 ◆授業や学級を組織していく力など、実践的指導力を高める研修の充実  
 ◆働きやすい職場環境づくりの推進  
 ◆いじめ等の問題行動の未然防止と早期発見・早期対応の徹底  
 ◆学校施設の整備・充実 ◆幼児教育の充実  
基本目標2 支え合い  
 ◆子育て講座の充実 ◆土岐市PTA連合会の活動に対する支援  
 ◆幼稚園、小・中学校のPTA活動に対する支援の充実

## 2 第2次教育振興基本計画の現状と課題

### 1-1 確かな学力の育成

#### OR6全国学力学習状況調査

・学力調査 全国と比較

	小学校	中学校
国語	低調	同程度
算数 数学	低調	同程度

・質問紙調査

	小学校	中学校
「国語の勉強は好きですか」 「国語の勉強は大切だと思いますか」 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」	いずれも大きく下回る	いずれも上回る
「算数の勉強は好きですか」 「算数の勉強は大切だと思いますか」 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」	いずれもわずかに下回る	上回る 上回る 同程度

学力調査においては、これまでの傾向と変化はなく、小学校で全国と比較し低調、中学校で全国と同程度である。

→これまで取り組んできた基礎・基本の確実な定着だけでなく、**主体的に学ぶ、学ぶ意欲や意義**が感じられる視点での授業改善が必要

## 1-2 多様な学びを支援する教育の充実

### ◆キャリア教育

#### OR6全国学力学習状況調査

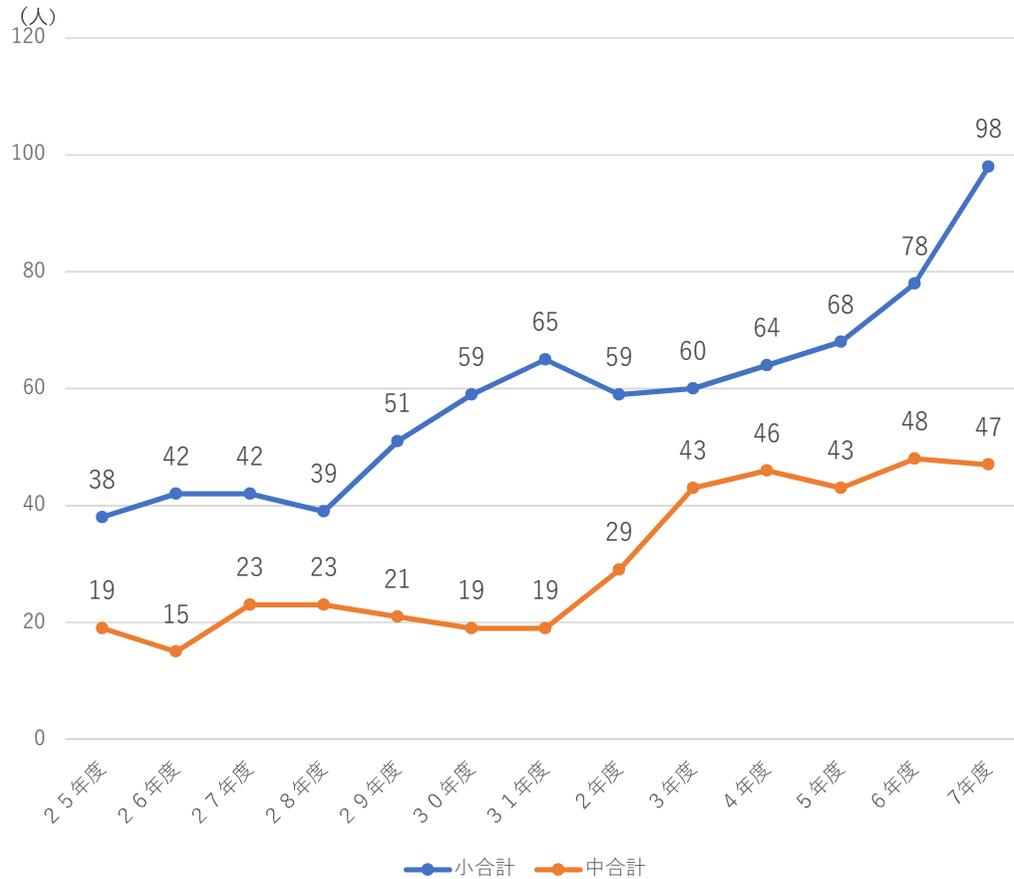
・質問紙調査

	小学校	中学校
将来の夢や目標をもっていますか	同程度	わずかに下回る
自分にはよいところがあると思いますか。	下回る	上回る
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	やや下回る	大きく上回る
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	上回る	大きく上回る

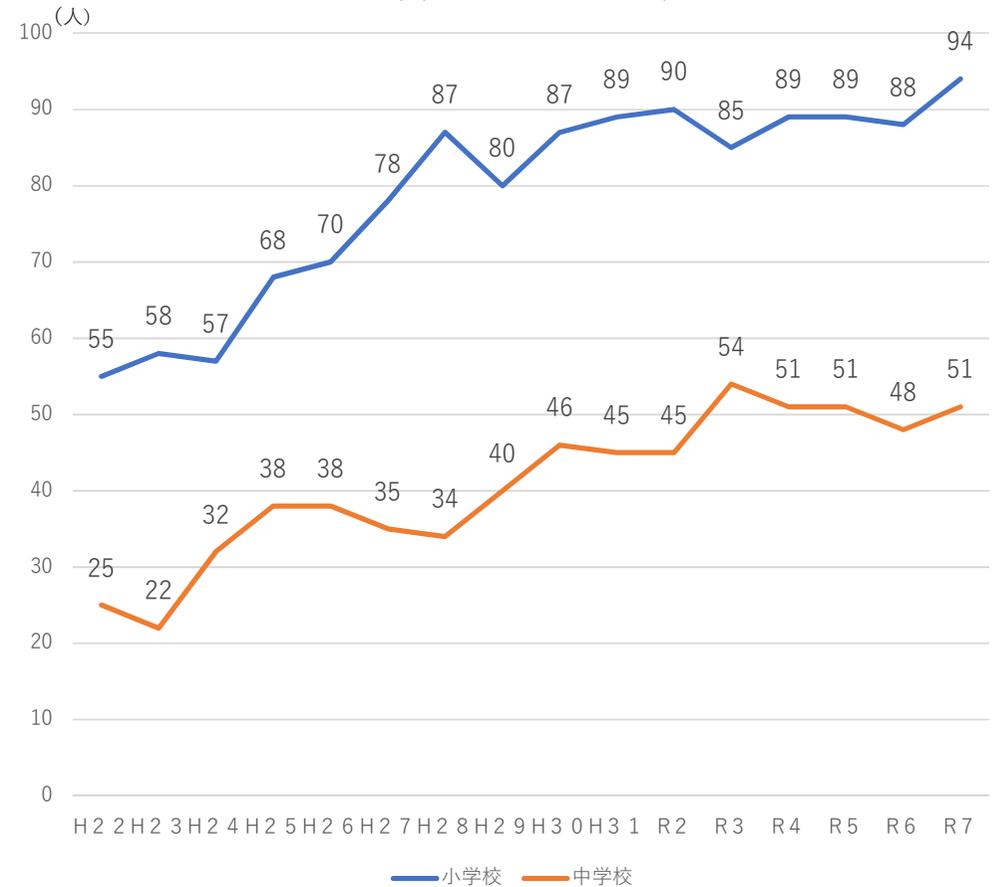
夢の教室（令和5年度まで）児童生徒能力開花事業において、様々な体験の機会を設けた。  
**将来の夢や目標**がもてる、**一人ひとりのよさや可能性**、**自己肯定感**や**自己有用感**、自身を振り返り**学びを調整する力**、**探究する力**等の育成など、キャリア教育の一層の充実が必要。

## 1-2 多様な学びを支援する教育の充実

特別支援学級児童数（小中別）H25～R7



土岐市の外国籍児童生徒数の推移



特別支援学級児童数、外国籍児童生徒数は年々**増加傾向**。  
**個々の教育的ニーズに応じた支援**が、増々必要となってくる。

### 1-3 豊かで健やかな児童生徒の育成

#### ◆体力づくりの充実、健康教育の推進

令和6年 スポーツテスト

	小学校5年 男子	小学校5年 女子	中学校2年 男子	中学校2年 女子
体力・運動能力	長座体前屈、反復横跳びで全国と同程度、それ以外すべて下回る。	長座体前屈、反復横跳び、ソフトボールなげが全国と同程度。それ以外すべて下回る	上体起こし、50m走が全国を上回る。 反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳びが同程度。 握力、長座体前屈、ハンドボール投げが下回る。	持久走は全国を上回る。 長座体前屈が全国と同程度。それ以外はすべて下回る。
運動習慣等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満児童の割合は全国より少ない</li> <li>・「中学校進学後、スポーツをする時間を持ちたいか」にたいして、「思わない」回答が全国平均より高い。</li> <li>・体育の授業が「楽しい」と感じる割合はが全国平均よりやや少なく、「あまり楽しくない」がやや高い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満率は全国平均より低い。</li> <li>・「卒業後も自主的にスポーツをする機会を持ちたい」と回答した割合は全国平均よりやや高い。</li> <li>・体育の授業が「楽しい」と感じる割合は全国平均とほぼ同等</li> </ul>	

特に小学校において、体力・運動能力が全国と比較して低く、スポーツや体育への関心・意欲が低い。  
**楽しく運動に取り組み、体力を向上させる取り組み**の推進が継続して行われる必要がある。

### 1-3 教職員の資質向上

#### ◆働きやすい職場環境づくりの充実

月45時間以上勤務した人数の割合

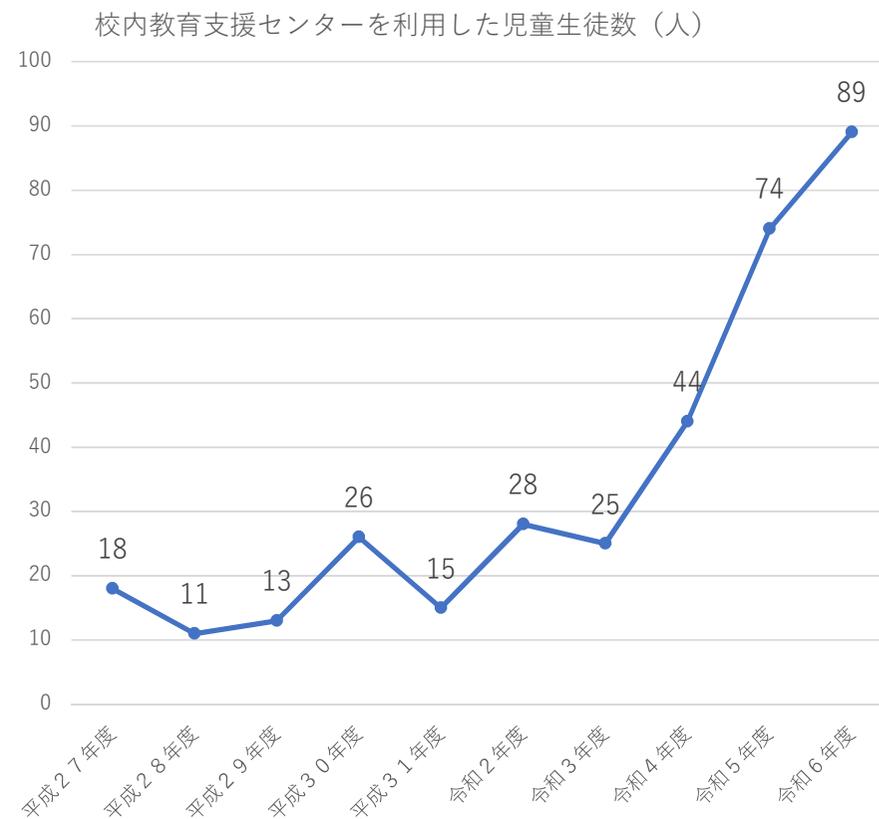
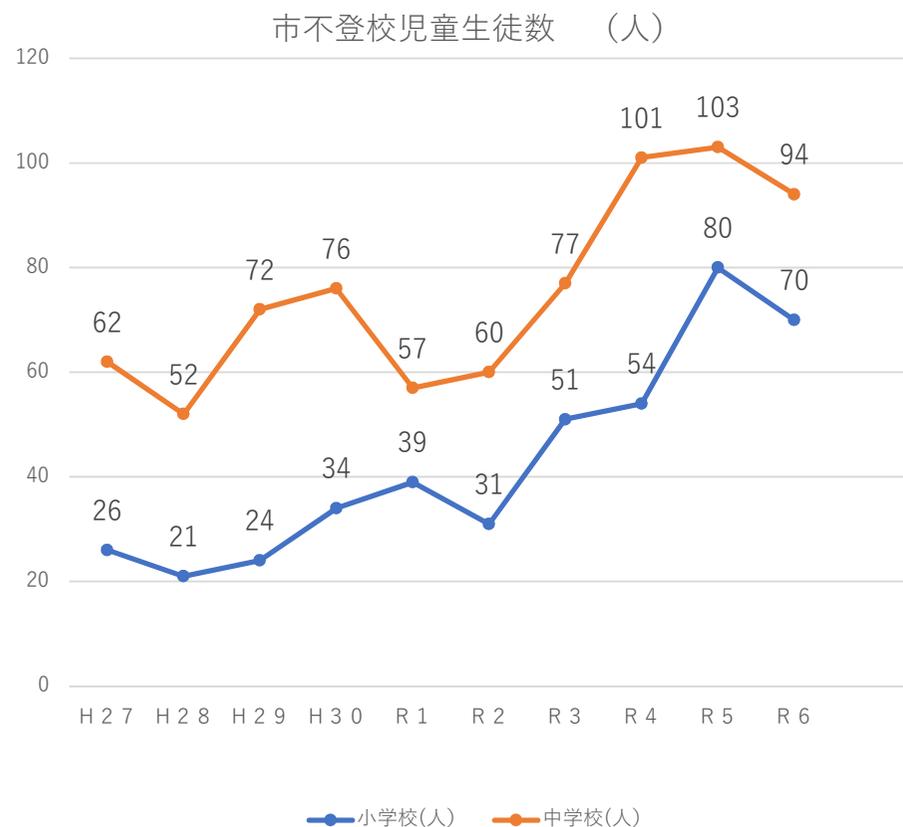
R1 43.6% → R6 19.9%

		時間外勤務時間の平均 (時間/月)	記録対象教員系 職員数 (年間のべ人数)	時間外勤務の時間の分布 (割合：%)			
				0時間以上 45時間未満	45時間以上 80時間未満	80時間以上 100時間未満	100時間 以上
R6	小中学校 合計	31時間	3,687人	2,953人	698人	25人	11人
		43分	100.0%	80.1%	18.9%	0.7%	0.3%
R1	小中学校 合計	39時間	3,608人	2,035人	1,426人	114人	33人
		59分	100.0%	56.4%	39.5%	3.2%	0.9%

月45時間を超える割合は、計画前のR1と比較し大きく改善したが、R6においても約2割が月45時間を超えている。

職員一人ひとりの**タイムマネジメント能力の向上**と、校務支援システム等ICTを活用した**業務の効率化**を促進する必要がある

## 1-5 安全・安心な教育と体制の整備・充実



不登校児童生徒数は増加傾向であったが令和6年度は減少。学校内教育支援センターの利用は令和3年度以降、**急激に増加**。子どもたちの**他者とかかわる力、支え合う力の育成、多様な個性への理解**をすすめる。学校は**関係機関と連携し、多様なニーズへの対応、家庭・地域での居場所づくり**など、対応は多岐にわたる。

## 2 第2次土岐市教育振興基本計画の総括

### 基本理念

人との絆の中で

ふるさとへの愛着と誇りをもち

夢を実現できる人を育てる土岐の教育

基本目標 1 学び合い 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成する

基本目標 2 支え合い 家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

基本目標 3 いきがい ふるさとを大切にし、生きる喜びを感じる

・夢や希望をもって努力する大切さを実感させる事業の展開ができた。**未来の社会においても夢や希望を持たせる機会 はますます重要である。**

・確かな学力の育成として、基礎・基本の定着を図り、全国学力学習状況調査では中学校において全国平均と同等の結果となった。基礎・基本のみはなく、総合的な学力向上のなかで、**学ぶ意欲や意義を感じさせる授業改善**が必要。

・今後必要とされる探究力育成のためにも、**読書環境の更なる整備・充実**が必要。また、人権教育の実践を授業の中でも意識していくことが、主体的・対話的で深い学びの礎となる。

・運動・体力の向上の取組を継続したが、生涯の健康維持・増進のため運動に**主体的に取り組み、体力を向上させる取組みが今後も必要。**

・支援員の配置、校内教育支援センター、土岐市教育支援センターなど**相談できる体制を整えた**。令和6年度は不登校児童生徒数が下降に転じたが出現率としては高く**今後も支援の充実が必要。**

・通級指導、外国人初期指導など多様な個に対応できる**支援環境を整備し多様なニーズへ対応**してきた。特別支援学級児童数、外国人児童生徒数は今後も増加が見込まれるため、**更なる充実**が求められる。

・全小中学校に、**学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクール化を実現**した。人口減少、少子高齢化が進む中、学校と地域の協働により子どもを育むためにも、**学校運営協議会の活動をより充実させる**必要がある。

・教員の資質向上について、研修等により教育実践力を高める取組みができた。今後、働きやすい環境づくりとして、**タイムマネジメント能力の向上と、ICTの活用による業務の効率化**が必要。

一定の成果が上げられたが、取り組む中で明らかになった課題の解消や引き続き取組みを継続させる必要がある。

➡「夢・絆プラン」を継承しつつ、今日的な課題への対応や未来に向けた資質・能力の育成をすすめる。評価が事業の実施の有無でとどまっているため、児童生徒の資質・能力が確実に身についたかを評価しづらい。理念の実現のために育みたい力を明確にしたい。

### 3 第3次教育振興基本計画の背景となる計画

#### 教育振興基本計画

##### コンセプト

- ・持続可能な**社会の創り手**の育成
- ・日本社会に根差した**ウェルビーイング**の向上

##### 基本方針

- ①グローバル化する社会の**持続的な発展**に向けて**学び続ける人材の育成**
- ②**誰一人取り残されず**、すべての人の**可能性を引き出す共生社会の実現**に向けた教育の推進
- ③**地域や家庭で共に学び支えあう社会**の実現に向けた教育の推進
- ④教育デジタルトランスフォーメーションの推進
- ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

#### 【第4次岐阜県教育振興計画】

##### 目指す人間像

「ふるさと岐阜」で育んだ**自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人**

子どもたちが、「**自立力**」「**共生力**」そして「**創造力**」をバランスよく身に付け、これらの**3つの力を発揮**して、自らの**可能性**を信じ、一人一人の**優れた才能**や**多様な個性**を伸ばし、更にそれを磨きながら、**希望**をもって**よりよい未来の実現に挑み続ける**ことで、世界や**地域社会**などで広く**貢献**できる力を養う。

#### 第七次土岐市総合計画

##### まちの将来像

**人を育み 伝統を紡ぎ いきいき暮らせる陶（とう）のまち**

##### 基本目標3

**学びや協働を通して人や地域を育むまち**

- ・**未来**を担うこどもたちが、**安心して等しく質の高い教育**を受けられる環境を提供します。

#### 土岐市こども計画

##### 基本理念

**守ろう 笑顔 育てよう 豊かなこころ**  
**みんなでつなぐ ときの未来**

##### 背景となる計画の要点

- ・予測困難な時代において、**持続可能雄な社会の担い手を育成**。そのためには、**自ら課題をみつけ、主体的に学び、行動する力が必要**
- ・多様な個人のそれぞれの幸せや生きがい、地域や社会が生きがいを感じられる**共生社会の実現**
- ・**地域・社会の担い手**として、**学び合い支え合う教育**
- ・**個別最適な学びと協働的な学び**を一体的に充実させる
- ・教育デジタルトランスフォーメーションを推進

## 4 教育大綱（案）

教育を取り巻く現状と変化、第2次教育振興基本計画の成果と課題、背景となる計画等を踏まえ、今後の方向性を勘案し以下のよう整理した。

- ・学校は未来の社会で活躍する人材を育成する場である。
- ・予測困難な時代において、未来の社会で活躍するには、主体的に社会に参画する力の育成が必要である。そのためにも、主体的に学び・考え、行動する力（自立）を育む。
- ・主体的に学び・考え・行動し、幸福感を得られることが持続可能な社会の構築へとつながる。多様な個人が幸せや生きがいを感じるためには、互いを認め合い協働し、誰一人取り残されない共生社会の実現に向けた教育を推進する。
- ・共に支え合う共生社会の実現に向け、持続的な地域コミュニティの担い手として、地域や社会への貢献等により、当事者として地域社会の担い手の意識をもてるようにする。このような体験を得て、あたたかい支え合いの中で絆を感じ、土岐市への愛着と誇りを持ち、自立する力や他者との協働の基盤となる共生する力を身につけ、自信をもって自らの未来を切り拓く力を育む。
- ・予測困難な時代ではあるが、現時点で予測できることは人口減少であり、教育環境についても人口減少による小規模化を考慮する必要がある。

以上のことから、教育大綱の改定（案）を次のとおりとする。

### 基本理念

### ふるさとの人の絆の中で、夢と誇りを育み、自ら未来を切り拓く土岐の教育

#### 基本目標

互いを認め合い、主体的に学び、考え、行動する未来社会の担い手を育む教育の推進

#### 育みたい力

自立 主体的に学び・考え・行動し、自分の良さや強みを実感し、自分の可能性を拓く

共生 自分とは異なる他者とながら協働し、互いを尊重し、認め合い、支え合う

貢献 夢を持ち、自分の良さや可能性をもとに地域社会の担い手となる意識の醸成

## 4 教育大綱（案）

社会を取り巻く現状や変化

- 人口減少
- 家庭環境の変化
- ICT環境の変化

・人口減少・家庭環境の変化への対応として、学校は地域で活躍できる人を育み、地域は学校を支え共に子どもを育てる。**学校と地域の協働。**

・生成AIやロボットの発達による、職業で必要な能力の変化。変化が激しく予測困難な**未来を切り拓く力の育成。**

### 第2次土岐市教育振興基本計画

#### 基本理念

人との絆の中で  
ふるさとへの愛着と誇りをもち  
夢を実現できる人を育てる土岐の教育

一定の成果が上げられたが、取り組む中で明らかになった課題や引き続き継続の必要性がある。

→「**夢・絆プラン**」を継承しつつ、**今日的な課題への対応や未来に向けた資質・能力の育成**をすすめる。

### 目指す教育の基本的な方針（案）

- ・学校は未来の社会で活躍する人材を育成する場である。
- ・予測困難な時代において、未来の社会で活躍するには、主体的に社会に参画する力の育成が必要である。そのためにも、主体的に学び・考え、行動する力（自立）を育む。
- ・主体的に学び・考え・行動し、幸福感を得られることが持続可能な社会の構築へとつながる。多様な個人が幸せや生きがいを感じるためには、互いを認め合い協働し、誰一人取り残されない共生社会の実現に向けた教育を推進する。
- ・共に支え合う共生社会の実現に向け、持続的な地域コミュニティの担い手として、地域や社会への貢献等により、当事者として地域社会の担い手の意識をもてるようにする。このような体験を得て、あたたかい支え合いの中で絆を感じ、ふるさと土岐への愛着と誇りを持ち、自立する力や他者との協働の基盤となる共生する力を身につけ、自信をもって自らの未来を切り拓く力を育む。
- ・予測困難な時代ではあるが、現時点で予測できることは人口減少であり、教育環境についても人口減少による小規模化を考慮する必要がある。

## 土岐市第七次総合計画

### 基本目標 3

**学びや協働を通して人や地域を育むまち**

・未来を担うこどもたちが、**安心して等しく質の高い教育**を受けられる環境を提供します。

- 学び** 未来の社会で活躍するために、主体的に学ぶ力を育成  
→ **夢と誇りをもって主体的に未来を切り拓く力を育む**
- 協働** 誰一人取り残されない共生社会の実現  
→ **人と人が互いに尊重し、認め合い支え合う絆を育む**
- 人や地域を育む** 当事者としての社会の担い手となる意識の育成  
→ **地域への愛着と誇りを育む**

## 教育大綱(案)

### 基本理念

**ふるさとの人の絆の中で、夢と誇りを育み、自ら未来を切り拓く土岐の教育**

### 基本目標

**互いを認め合い、主体的に学び、考え、行動する未来社会の担い手を育む教育の推進**  
育みたい力

- 自立** 主体的に学び・考え・行動し、自分の良さや強みを実感し、自分の可能性を拓く
- 共生** 自分とは異なる他者とつながり協働し、互いを尊重し、認め合い、支え合う
- 貢献** 夢をもち、自分の良さや可能性をもとに地域社会の担い手となる意識の醸成

## 5 第3次教育振興基本計画（案）

### 教育大綱(案)

#### 基本理念

ふるさとの人の絆の中で、夢と誇りを育み、自ら未来を切り拓く土岐の教育

#### 基本目標

互いを認め合い、主体的に学び、考え、行動する未来社会の担い手を育む教育の推進  
育みたい力

**自立** 主体的に学び・考え・行動し、自分の良さや強みを実感し、自分の可能性を拓く

**共生** 自分とは異なる他者とつながり協働し、互いを尊重し、認め合い、支え合う

**貢献** 夢をもち、自分の良さや可能性をもとに地域社会の担い手となる意識の醸成

1 確かな学力の育成
◆「土岐市幼稚園・こども園、小・中学校教育の方針と重点」の具現
◆主体的で対話的で深い学びの実現
◆幼保小中の連携
2 自立する力の育成
◆キャリア教育の充実
◆主権者教育、消費者教育、環境教育など今日的な課題に対応した教育の推進
3 豊かな心と健やかな体の育成
◆人権教育の充実
◆道徳教育の充実
◆学校図書館の充実
◆体力づくりの充実
◆健康教育の推進 ◆食育の推進

4 多様な人とのつながりを活かした教育の推進
◆地域と密接なつながりを活かした貢献する心を育成
◆地域の施設を活用した学びの機会の充実
◆部活動の地域移行の充実
5 多様な学びを支援する教育の充実
◆特別支援教育の推進
◆多文化共生社会を目指した外国人児童生徒教育の推進
6 誰もが安全で安心して過ごせる学校づくりの推進
◆不登校の未然防止と迅速で組織的な対応
◆いじめ等の問題行動の未然防止と早期発見・早期対応の徹底
◆教育相談体制の充実
◆学校施設の整備・充実 ◆危機管理体制の充実（通学路・防災）
◆安全・安心を守る教育の充実（いのちの教育・防災教育・安全教育）

7 ICTの整備・活用推進
◆情報活用能力の育成
◆ICTを活用した校務の効率化
◆情報通信機器の整備
8 教職員の資質・能力の向上
◆経験年数や職務に応じた研修、今日的課題に対応する研修の充実
◆授業や学級を組織していく力など、実践的指導力を高める研修の充実
◆広報活動の充実
◆働きやすい職場環境づくりの推進
9 家庭・地域・学校の連携の推進
◆学校運営協議会の充実
◆子育て講座の充実